

JICA地球ひろば公開セミナー
明日から実践！授業事例紹介

2年生 道徳(生命尊重)

「大切にしたい
生きもののいのち」



15 陸の豊かさも
守ろう



MARUYAMA ZOO

石狩市立南線小学校
教諭 宮浦 匡典

授業風景(導入)

円山動物園にどんな生き物がいましたか。

きりんがいました！

アライグマがいました！

ホッキョクグマを見ました！



授業風景(展開1)

加藤園長がゾウについて教えてくださいました。

ゾウの名前は、パール、シュティン、ニヤイン、シューシュの4頭です。

授業風景(展開1)

クイズ1「ゾウの足の大きさは何cmだと思いますか。」

30cm!

40cm!

50cm!



授業風景(展開1)

南線小学校、円山動物園、そしてミャンマーのエレファントキャンプへ
(Google earthを使って)

こんなに遠くから来たんだ!

わーすごい!

Where?

アジアゾウはどこからやってきたの?

授業風景(展開2)

ミャンマーでゾウ使いをするアウン君を紹介します。実はアウン君は悩みを抱えているのです...それは...



授業のスライド(展開2)



ゾウの数が
どんどん
へっているん
だ...

ぞうつかいの
アウンくん

授業のスライド(展開2)



ぞうつかいの
アウンくん
(10才)

ゾウには山にある大きな木
をはこんでもらっているよ。
しごとがないとき、ゾウはい
つも山で楽しそうにあそん
でいるよ。ぼくもゾウとくら
せてとてもしあわせなんだ。
ミャンマーでは、ゾウは広い
場しよで、のびのびとくらし
ているんだよ...

授業風景(展開2)

さて、そこで「ゾウを飼うこと」について...
ともきくんと、まみさんの考えのどちらがよいと思いますか。



(授業スライド:展開2) ゾウをかうことについて
どちらの考えがよいと思いますか。

せっかくゾウ
が来たのだから動物園
で大切に
そだてたら
いいよ。

ともきくん

まみさん

数がへっている
ので、ゾウ
がのびのびと
くらせる
ミャンマーに
かえしてあげ
たらいいよ。

授業風景(展開2)

どちらの考えもわかる。

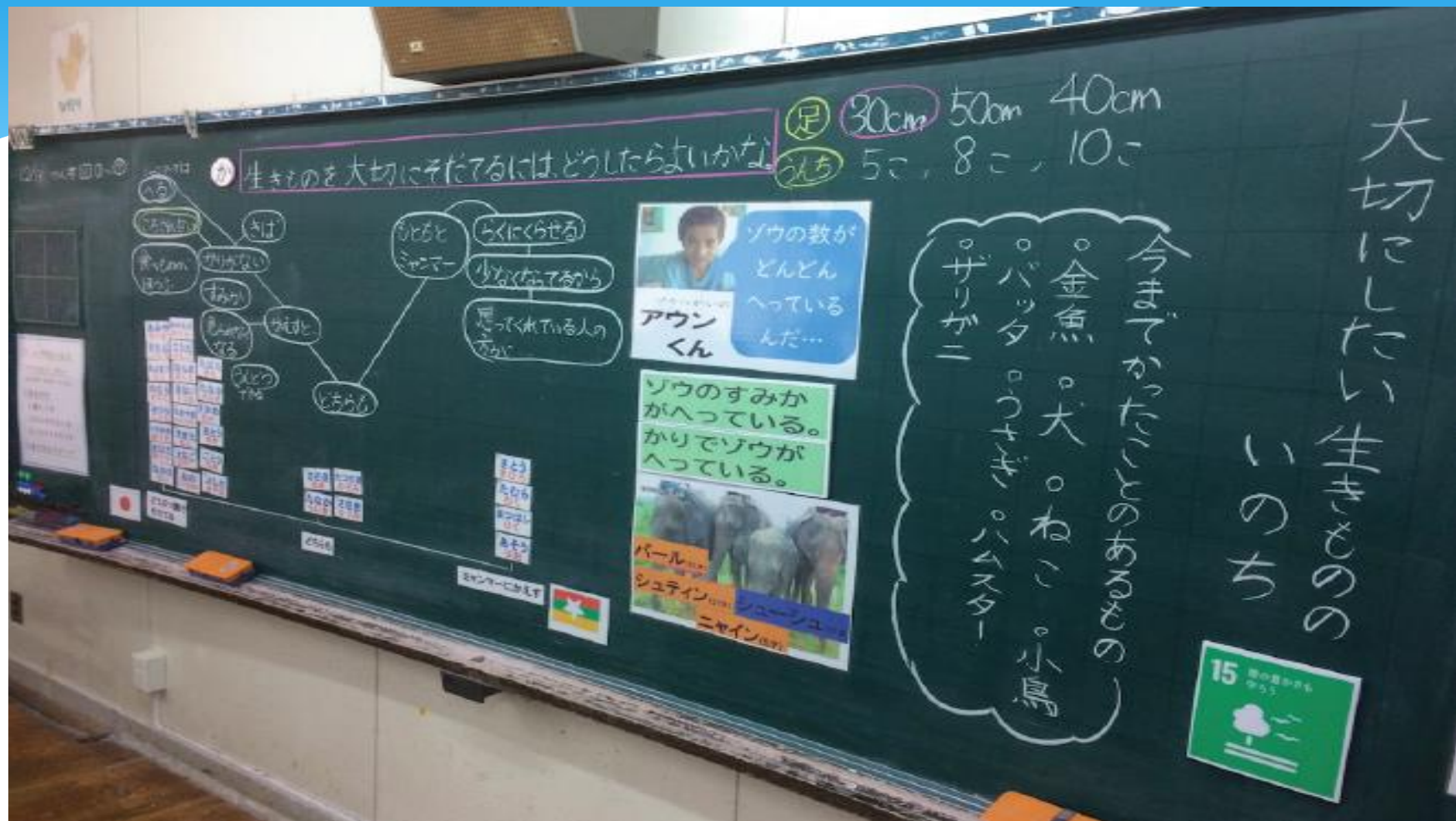
ぼくは日本で育てる方がいい
と思うな。

私はミャンマーで育てる方が
いいと思うな。

自分の考えを黒板に



授業の板書



* 苦労した点、改善点、成果が出た点

子どもたちの授業の感想1

- 家で動物を飼っているけど、面倒をあまり見ていないので、これから大切にしたい。
- 動物を飼うときには大切に育てます。
- 生き物がたいへんそうだったら、自分はこれから助けます。

→これからの自分について述べた意見

子どもたちの授業の感想2

- ゾウがどっちがくらしやすいかわからないけど、動物園かミャンマーどちらかで暮らせるといい。
- ゾウが日本に来ていいと思っているけど、ゾウは自分が生まれた国の方がくらしやすいのかなと思いました。

→ゾウの立場にたった意見

子どもたちの授業の感想3

- どちらの意見も大切なことで、みんなの言っていることがわかりました。
- ~さんの意見を聞いて、どちらも大事でどう考えてよいかわからなくなったのでどちらもにしました。

→ 授業を通して見られた考えの変容

成果の出た点1(参観者から)

- * 1年生の社会見学で行った円山動物園を題材としたことからどの子も授業に参加できていた。
- * 低学年は自己中心性が高いにもかかわらず、ゾウの立場から意見を述べていてびっくりした。

成果の出た点2(参観者から)

- * 自分の国でゾウが死ぬのであれば・・・などの理由から、どう考えてよいか分からないなど、本当に多様な意見が出ていた。
- * 対話を通して、自分の意見の確認、相手の考えの尊重、自分の考えの修正や発展等、授業を通じた深い学びが見られた。

課題や改善点(参観者から)

- * 前半部分が長めであった。もう少しスリムにした方がよい。クイズもゾウの命に関わるものの方がつながりがあったのではないか。
- * 主発問は「どちらの意見に賛成ですか。」の方がよいのではないか。正解ではなく個人の考えを問うているので。

課題や改善点(参観者から)

- * 架空のともきさんとまみさんを登場させるのではなく、アウン君の言葉に対してこたえる組み立てにした方が国際理解教育らしくなるのでは。
- * 終末は決意表明にならない方がよい。「これからの自分」ではなく、「気付いたこと」とした方がよい。

SDGsとの関連と指導

- * 指導にあたっては、発達段階における配慮が必要であり、SDGsを掲げなくてもできる活動の工夫やしかけが大切である。

→本授業では

①社会見学で訪れた動物園を題材とした

②アジアゾウやゾウ使いのアウン君を登場させた

*①②の効果として

学習者の身近なところから
共感的に理解し、深い学び
につなげることができた。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



おわりに・・・国際理解教育としての 意義と汎用性

* 国際理解教育としての意義

本授業では、アジアゾウやミャンマーでゾウ使いをするアウン君を通して、「ミャンマーという国について知る。」「ミャンマーと日本のつながりに気付く」というところに意義がある。

* 本授業の汎用性

- ①1時間扱いの道徳の授業(生命尊重)であること
→教育課程上、無理なく実践できる。
- ②身近な題材を教材としていること
→動物園は全国各地にあり、アジアゾウ以外でも、その地域
いる動物を通して学ぶという授業展開が可能である。